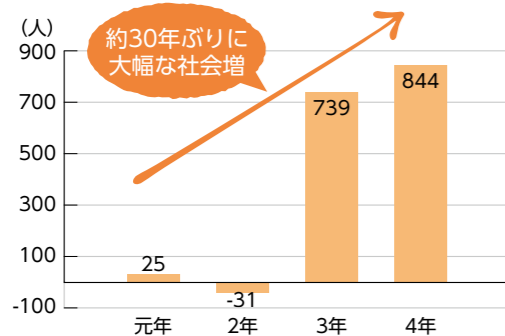


県内で
「共働き子育てしやすい街」
第1位!

狭山市は、令和3・4年と2年連続で大幅な転入超過となりました。4年の転入超過は、県内の市町村でも6番目の数です。そして転入してきた方のうち、約7割を30代以下の若い世代が占めています。また、昨年には日本経済新聞社の調査「共働き子育てしやすい街ランキング2022」で県内第1位の評価を得ました。

市がこれまで行ってきた子育て支援の取り組みを、今後さらに充実させていきます。

狭山市の人口社会増減の推移



さやまで子育てしようよ!

狭山市では、安心して子どもを産み、育てることができるまちにするための取り組みを進めています。また、地域全体で子育てができるよう、さまざまな人たちがサポートし、地域の子どもたちやその親と関わりを持っています。

今月の特集では、狭山に住む皆さんが子育てをする中で利用できる制度や、地域の子育てを応援している団体や市民の方たちを紹介します。



SDGsの関連アイコンを特集ページに標記しています

子育て中の皆さんに聞きました!

さやまのここがお気に入り

晴れの日には市役所の敷地内にある芝生の広場がオススメのスポットです。雨の日には総合子育て支援センターをよく利用しています。



公共施設などに行くと、スタッフの皆さんが丁寧に対応してくれるところが、子どもを安心して遊ばせることができます。



地域の皆さんが子どもと一緒に遊んでくれます。とても温かく接してくれるのがうれしいです。



緑が多いところです。あと、智光山公園や稲荷山公園は広く走り回れるので、子どもも気に入っています。



子どもを連れて遊びに行った時に、パパ・ママと情報交換ができる場所です。同年代の子を持つ親同士で相談できて助かっています。



電車や飛行機など、子どもが好きな乗り物がたくさん見られることです。喜ぶ顔を見ることができてうれしいです。





入間川にこここテラス

親子で 思いっきりあそぼう!

晴れた日は入間川にこここテラスや智光山公園、雨の日は総合子育て支援センターや児童館へ出掛けよう。他にもキャンプ場や動物園など、子どもたちが体感・体験できるスポットがたくさんあります。



▲市内の公園はこちらから



総合子育て支援センター



智光山公園

親も子どもも

学校生活や思春期の不安に寄りそう

各小・中学校にさやまっ子相談員を配置。学校に「行きたくない」「行けない」子どもたちや、子育ての悩みを抱える家庭からの相談を受けています。

小・中学校に入った後もサポート!



pick Up

さやまの子育てサポート

令和5年から新しく始まる 子育て支援制度!

その2 子育ての不安や心配ごとを安心に

妊娠期から出産、その後も子どもの成長に合わせて、そのときどきの不安や心配事を相談できる体制を整えています。妊娠・出産時の応援金もあります。

6年1月、入曽地区に妊娠期から子育て期まで支援を行う子育て支援拠点施設がオープンします(予定)。



その1 こども医療費を18歳まで無料に



5年10月診療分から、お子さんが医療機関などを受診したときの医療費が満18歳になる年度の3月まで無料になります。入院中の食事代も対象です。



共働きゃひとり親家庭を応援!

働く親をサポート! 保育所などの定員を拡充

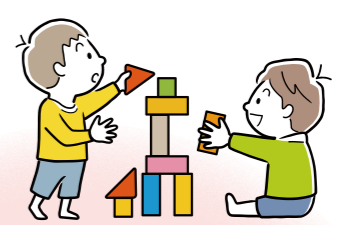
働く親が安心して子どもを預けられるよう、保育所や学童保育室を整備しています(6年4月に新しい認可保育所が開所予定)。



▲保育所



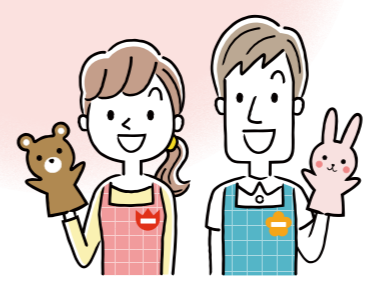
▲学童保育室



ひとり親家庭の「困った」をサポート



- ◆子どもたちの将来のために
養育費に関する公正証書作成費や保証会社と養育費保証契約を締結する費用を補助します。
- ◆これからの生活を安定させるために
ひとり親家庭の親・子どもが資格取得などの選択肢を広げるために高卒認定試験の受験対策費用を補助します。



pick Up さやまの子育てを支えるひと

子育て支援団体や子ども食堂、ファミリー・サポート・センターの会員として活躍している皆さんに、活動を始めたきっかけや、やりがいを伺いました。



自身の経験を通じて...

1人目の子どもを産んだ後、赤ちゃんとの慣れない生活の中で、言いたいぬ孤独と不安を感じていました。その後、2人目の子どもを妊娠した時に、気軽に人とつながることができて、家事の負担軽減にもなるようなサービスがあったら良いなと思ったのです。社会にそうした仕組みがないならば自分で作ろうと思いいち、行動し始めました。

スタートはゼロから

私がやろうと思ったのは産前・産



こきだて支援comono代表 兒玉 保光さん



産前・産後の家庭への弁当宅配、助産師と一緒に家庭を訪問する助産師訪問、子ども用品のおさがり交換会、食品を有効活用するフードドライブ、交流の場づくりを目指す打楽器のワークショップなど、子育て中の家庭への支援をさまざまな形で取り組んでいます。

後の家庭への弁当の宅配です。どこにもモデルケースがない取り組みで、はじめは食材を集めるために市内の事業者さんへ電話をかけ「協力していただけないか」と相談しました。怪しまれることもありましたが、徐々に私の考えに共感してくださる方が現れたことで、手応えを感じる事ができました。今では、お弁当を作ってくださいる事業者さんや食材を提供してくださいる事業者さんなど、賛同してくださる多くの皆さんのおかげで、たくさんの方にこの活動を知ってもらえるようになりました。

ゆるいつながりのきっかけに

各家庭には、お友達に赤ちゃんが生まれたからご飯を持って行くような感覚で訪問しています。お話をしてみると、かつて私が抱えていたような孤独や不安を感じているケースはとても多いです。その方たちが一人で悩まないで、地域と気軽にゆるくつながるきっかけになればいいなと思っています。

子育てしやすい社会を

私が経験した赤ちゃんとの生活は、私が想像していたよりもずっと



打楽器のワークショップの様子

子ども食堂 にこにこ食堂



コロナ禍でも活動を継続

活動を始めて今年で7年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症の流行で、食事を提供することが難しい時期もありました。しかし、地域みんなが安心して集まれる場を作りたいという思いから、食材や弁当を配布することで、途切れることなく活動を継続してきました。5月から入管地域交流センターで、作った料理をその場で食べられる形式での活動を再開させます。

参加対象は限定しない

経済状況などを理由に対象を限定

狭山市の子ども食堂

子ども食堂は、子どもやその保護者、地域住民などに対し、無料または低額で食事や団らんの場を提供する活動です。狭山市内ではさまざまな団体が活動しています。



してしまつこと、本当に困っている子が参加できなくなつてしまつことがないよう心掛けてきました。地域に住む乳幼児からお年寄りまで誰もが参加できる場につけています。

子どもたちの成長と安心の場

活動を通じて子どもたちの成長を見られることがやりがいにあります。かつて食事を食べに来ていた子が、運営スタッフとして手伝いをしてくれたこともありました。また、主要な運営スタッフの多くは民生委員などの経験者で、子どもたちの細かい変化に気を配っているので、安心して参加してほしいです。

子どもたちの成長を見守る

ファミリー・サポート・センター(以下ファミサポ)の「預かる会員」として、子どもたちを保育園や習い事へ送迎する活動をしています。始めた当時、保育園から自宅へ送迎していたお子さんはもう中学生になっています。自分の家族以外に、成長を見守ってきた多くの子どもたちのエピソードを保護者さんたちと語り合えるのは、この活動を続けていく魅力ですね。

「自然体」で「無理せず」

子どもを預かる時には、自然体で接するようになっています。慣れるまでは、緊張している子どもたちが

リラックスできるように、送迎する車の中で声を掛けるようにしています。また、自分の生活に無理のない範囲でやってきたことも継続の秘訣だと思っています。

ファミサポが家族の日常に

ファミサポの会員の活動が、私と私の家族の生活の中で当たり前存在になっていると感じます。中学生の娘は、送迎に進んでついで来て、子どもたちの話し相手になってくれます。そして、私自身も多くの人に支えてもらいながら成長することができました。狭山のが大好きになりました。育児が少し落ち着いて、何かやりたいと思っている方にはファミサポの「預かる会員」、オススメですよ。

さやまファミリー・サポート・センター 大澤 隆子さん



さやまファミリー・サポート・センター

子育ての手助けが必要な方(預ける方)と手助けができる方(預かる方)が会員になり、送迎や預かりなどを行い地域の中で子育てを助け合うための制度です。



狭山市の子育て応援事業

- 【手当】 助成金や補助金、手当などの金銭面をサポート
- 【仲間】 親や子の交流、仲間づくりをサポート
- 【相談】 子育ての「困った」をサポート

妊娠中・妊娠前

出産から 就学前

小学校・中学校・高校

妊娠

出産・育児

小学生 中学生

ライフステージに合わせた相談体制

- 妊娠の不安に寄り添います
- 妊娠・子育て期の母子保健相談
◎保健センター
- 産前・産後ヘルパー派遣
◎狭山市社会福祉協議会

- 出産・育児の不安に寄り添います
- 新生児・産婦訪問
◎保健センター
- 産後ケア
赤ちゃんとお母さんのケアを行います。 ◎保健センター
- 乳幼児健康相談・母乳・離乳食・栄養・発達相談、4ヵ月児・1歳6ヵ月児・3歳児健康診査
◎保健センター

- 子育て相談、家庭児童相談
◎総合子育て支援センター、家庭児童相談室
- 訪問型子育て支援（未就学児）
ボランティアが訪問し、育児のフォローや家事を行いながら、子育ての悩みに寄り添います。
◎総合子育て支援センター
- 保育コンシェルジュによる利用相談
保育所・幼稚園や一時預かり施設利用などの相談ができます。
◎保育幼稚園課

- 学校生活の不安に寄り添います
- 教育相談・不登校対策
スクールカウンセラー、さやまっ子相談員、教育相談員、スクールソーシャルワーカーの配置により相談体制を強化しています。
◎教育センター

- マタニティスクール、両親学級
◎保健センター
- 出産応援金
妊婦1人に 5万円
◎保健センター

- 子育て応援金
出産時赤ちゃん1人に 5万円
◎保健センター
- 低所得の子育て世帯給付金
子ども1人に 5万円
◎こども支援課

- すくすくベビー、ぱくぱくベビー
赤ちゃんを保護者を対象とした講座です。
◎保健センター
- あそび場
総合子育て支援センター、子育てプレイス、地域子育て支援センター、児童館では、気軽に親子が集まれる場所を提供しています。
◎総合子育て支援センター、青少年課

- 就学援助
対象となる世帯に学用品費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費、生徒会費を支給します。
◎学務課
- 子ども向け講座・地域子ども教室
公民館での各種講座など多数の子ども向け講座を行っています。地域の人の手で開催している地域子ども教室などもあります。
◎各公民館、社会教育課

不妊検査

*条件により助成額は変わります

- 早期不妊検査費助成
2万円か3万円*
- 不育症検査費助成
2万円か3万円*
◎保健センター

- 新生児聴覚スクリーニング検査費用助成
3千円
◎保健センター

- 育ちに課題のある子どもたちに寄り添います
- 外来療育相談・親子通園
心や身体、言葉の育ちに課題のある就学前のお子さんを対象に相談・親子通園事業を実施しています。
- 居宅訪問型児童発達支援事業
外出していろいろな経験をすることが難しいお子さんに対して、保育士・看護師が自宅を訪問し、遊びを通じて療育を行います。
◎青い実学園

満15歳になる年度の3月まで

2023年10月から満18歳になる年度の3月まで支給拡大

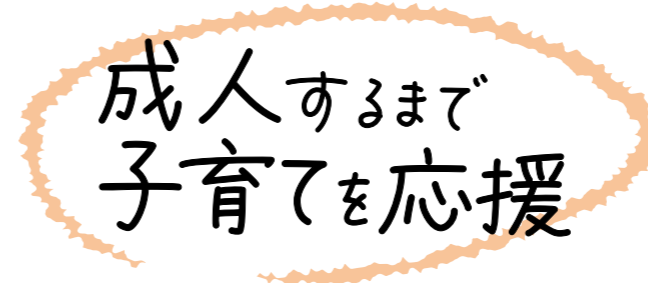
- 妊婦健診費用助成
- 産婦健診費用助成

パパ・ママ応援ショップ（子育て家庭への優待制度）…埼玉県内の協賛店舗で、埼玉県LINE公式アカウントやカードを提示すると、特典が受けられます。 ◎こども支援課

狭山市で新築住宅を建設・購入したら ◎企画課

若い世代の住宅取得支援補助制度 基本額 15万円 ※加算有	親元同居・近居支援補助制度 基本額 30万円 ※加算有
----------------------------------	--------------------------------

問合せ こども支援課 ☎2941-3069 社会教育課 ☎2946-8594 学務課 ☎2968-6034 企画課 ☎2935-4627
 保育幼稚園課 ☎2941-4093 総合子育て支援センター ☎2937-3624 保健センター ☎2959-5811
 教育センター ☎2956-2299 青い実学園 ☎2952-3302 狭山市社会福祉協議会 ☎2003-3849



さやまし子育てガイドブックはこちらのページをご覧ください (18ページに関連記事あり)

Home Cíao!

詳しくはこちらのページをご覧ください